

【4月の休館日】
1日(月) 2日(火) 9日(火)
16日(火) 23日(火) 30日(火)

毎月1日・毎週火曜日は休館です。

福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち ふくちのち便り

開館時間 10:00-19:00 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



ふくちのちイベント

- ◆ 大人の折り紙教室
4/3(水) 10:10-12:00
- ◆ おはなし会 乳幼児向け
4/4(木)・18(木) 11:00-11:30
- ◆ ぶらんこさんのおはなし会
4/6(土) 11:00-11:30
- ◆ 上映会 大人向け
「おくりびと」
4/13(土) 14:00-16:20
- ◆ おはなし会 子ども向け
4/14(日)・28(日) 14:00-15:00
- ◆ 上野焼展
4/17(水) ~ 5/6(月)
- ◆ 上映会 子ども向け
「げんぎげんきノンタン いたいのとんでけ〜★」
4/20(土) 14:00-14:35
- ◆ 青陽会作品展
4/24(水) ~ 29(月)
- ◆ おはなしやしゃぼん玉さんのおはなし会
~赤ちゃんのためのおはなし会~
4/25(木) 11:00-11:30
- ◆ 子どもの折り紙教室
4/27(土) 11:00-12:00

☎ 要申込

書の魅力に触れる2つの展示会

ふくちのち書道展

書道をテーマに2つの展示会を開催。12日からは光芳教室の生徒による作品展示、17日からは多数の入賞歴を持つ上野出身の書道家・藤本祥鴻氏が残した作品の数々を展示します。

場所 ▶ 1階 ワクワクワ広場

1. 日本習字 光芳教室作品展示

期間 ▶ 4月12日(金) ~ 4月14日(日)

2. ~書を想う~ 藤本祥鴻遺墨展

期間 ▶ 4月17日(水) ~ 4月22日(月)

ひと味違ったハーバリウム体験

ハーバリウムボールペンづくり

毎回好評のクラモト花店によるワークショップ。今回は人気の高いハーバリウムを使ったペンを作ります。事前予約が必要ですので、お申し込みはお早め。



「花が美しい、世界に一つのペンづくり。」

日時 ▶ 4月21日(日) 13:30-14:30

場所 ▶ 1階 ものづくりラボ

定員 ▶ 先着10人(要予約)

対象 ▶ 小学生以上
(低学年は保護者同伴)

参加費 ▶ 1,000円

受付 ▶ 3月21日(日) 開始

翌月のイベントを少しだけ紹介!

来月のふくちのちは…!?

- 彩の会 書道作品展
- 全国訪問おはなし隊



● 食育講座

※内容は変更になる場合もあります。詳しくはお問い合わせください。

PICK UP

NEXT MONTH INFORMATION

新着本

永田町小町バトル
西條奈加/著 (実業之日本社)

天皇のダイニングホール
山崎鯛介/著 (思文閣出版)

日本のレトロコスメ
日本のレトロコスメ研究会/編 (グラフィック社)

素敵な蔵書と本棚
ダミアン・トンプソン/著 (ガイアブックス)

魔法使いマーリンの犬
エリック・カーン・ゲイル/作 (評論社)

はたけのにやーこ
織茂恭子/作 (童心社)

ジバンシィとオードリー
フィリップ・ホブマン/作 (文化学園文化出版局)

名字ずかん
森岡浩/監修 (ほるぷ出版)

福智の風

▶ 「ことごと列車」に携わった九州鐵装・磯邊社長の「列車を作っていると先が見えず、心が折れそうに毎回なる。けれど諦めずにコツコツやっていると道がひらける瞬間がある」という言葉に心打たれました。別れと出会いが入り交じる春。自分の置かれた場所で、諦めずに精一杯やればいつか「花は咲く」と信じています。(太田)

▶ 昨年と同じ月の広報紙を見返すと、同じイベント、同じ内容のものが見つかります。しかしどんなページでも、今の自分が作れるのはこの一回だけ。同じ内容でも、来年作ればきっと違うものになると思います。将来振り返った時に、少しでも成長を実感できる。その日、その時、その一回を大切に、日々を積み重ねていきたいです。(田代)



● 歴史物語る貴重な出土品

城山横穴群の馬具



馬の口にはさみ、手綱を取り付ける馬具

現在も整備が進む国指定史跡「城山横穴群」。昨年度の発掘調査の中で、新たに馬に乗るための馬具が出土しました。これは轡(くつわ)と呼ばれる馬に手綱をかける道具とみられ、埋葬者の中に馬に関わる人々がいた可能性を示しています。

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

落の臺句会
抄らぬ仕草や何時も着ぶくれて
東風の波化粧あつめに漁師妻
恋文の解けて上枝に梅一輪
梅の宮祈りの鈴の鳴り止まず
緋目高の寝りの覚めし四温晴
料峭の墓皆隠れキリシタン
立春や不足の中に夢がある
春寒や羽織る一枚萌黄色
藪椿小鳥の宿となる夕べ

池田 駒女
大井 良治
木村 誠一
千手 弘子
高津 澄子
藤井耿之介
松本みつお
宮崎富美子
山本ひろし

鬼杉赤池俳句教室
一寸にはや貫禄の牡丹の芽
春を待つからくり時計捻子巻いて
本堂の痛み寒さを微笑仏
フルートの指軽やかに春を呼ぶ
目標は夫婦百歳寒明くる
対局に気迫の一手冬座敷
吹きぬける風と一戦寒天干す
赤き頬焚火が隠す恋心
吐く息の白さが集ふケアハウス

長副美恵子
建部三由紀
松岡 蒿枝
西田 真美
岩井 童子
桂 啓子
清原サヨ子
二宮 正人
植木 チエ

はな句会
早春の風橋に出て尖りけり
突く杖に歩をはずませて梅日和
立春と聞けば心に弾むもの
明るさや蕾持ちあぐシクラメン
鶯やあちこちに鳴く我が庭にも
春の日を浴びて喜ぶ小鳥たち
奥深き句作苦しむ余寒かな

馬郡 京子
熊谷カツミ
大久保幸子
日高八重子
福島ソマ子
井上サワ子
山田 花子

夜行バスねむれずまどのおぼろ月
春近し猫と一緒にまってる
小西田 芽生

村上 美幸
福田キヨ子
桑野 昭子
白石 信子
三村 和子
白石 清和
越智 早苗
福田 昌

ともしび短歌会短歌詠草

鉢植の枯れしがごときに緑の芽水やり陽なたに鉢を移せり
激動の昭和に生まれ平成の伸びる齢は平安祈る
耳欠けて立つ石佛に風は鳴るめぐりに若草萌ゆる日近し
ひとり帰る夜道なれどもバラ色の月はやさしく添ひてくれたり
遠き日に蜜吸ひ遊びしふるさとの鎮守の森にやぶ椿咲く
暁の雨だれの音に目をさますかすかに聞こゆ雨のささやき
菜の花の咲く散歩道吹き抜くる余寒の風に首を凍むる
健やかに九十二歳をたまりぬ夢に出で来るは若き日の友